

ロボットテクノロジーについて、本誌ではじめての特集は2017年(平成29年)であり、その後2018年(平成30年)、今回と3回目になる。この間、わが国ではモデル事業をはじめとしてさまざまな取り組みがなされ、その技術の現場での活用が促されているが、多くのOTにとってロボットが身近な存在になっているかと問われると、まだ発展途上の段階にあると感じる。

一方、テクノロジーの中で、昨今の情報通信技術(ICT)は著しく発展したといえる。これは新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化に伴うところが大きい。私自身の生活でもその活用が顕著に進んだことを実感する。2018年の特集「テクノロジーを理解する」の編集後記に、ロボットテクノロジーについて苦手意識をもたずに情報収集することが必要であるとしたが、私自身、現在日

常的にやっているオンラインやオンデマンド授業も、コロナ禍以前には苦手意識から情報収集をまったくしなかった。ICTについては、コロナ禍前から、一般にその利便性が認識

されていたが、なかなか活用しようという気持ちもなかった。しかし、現在の日常的な使用に至る要因を考えると、コロナ禍でのよりよい授業提供のためにICTを活用せざるを得ない状況に置かれていたことが挙げられる。

今回の特集では、ロボットテクノロジーの必要性とともに、その活用を阻む要因についてもお示しいただいた。さらにロボットの導入背景や、各場面での活用効果、導入方法について、身近な事例による報告を通してわかりやすく説明されている。コロナ禍で進展した私のICTのように、まだまだ読者の作業療法実践上に、ロボットテクノロジーの利用が差し迫った状況に至っていないかもしれないが、OTのもつアセスメント、マネジメント力がその活用推進に役立つことが、今回の内容からご理解いただけたと思う。これらの成功事例を参考に、ぜひ身近な場面での活用に取り組んでいただきたい。

(竹内 さをり)

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 竹内さをり 長野 敏宏
中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	石川 隆志	石原 茂和	宇田 薫
内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子	鴨下 賢一
川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静	近藤 国嗣
斉藤 秀之	相良 二郎	櫻井 卓郎	澤田 辰徳
柴田八衣子	島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬
竹中佐江子	田中 栄一	田平 隆行	辻 哲也
鶴見 隆彦	豊田 章宏	白鳥 智子	二神 雅一
堀田 聡子	松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦
三浦 晃	宮崎 宏興	宮本 礼子	村井 千賀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)

編集後記

作業療法ジャーナル VOL.56 NO.6 (June)

2022年6月15日発行(毎月1回15日発行)

定価2,200円(本体2,000円+税10%)

年ごめ予約購読料 30,800円(28,000円+税10%)

(送料弊社負担、増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野、森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2022, Printed in Japan

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。